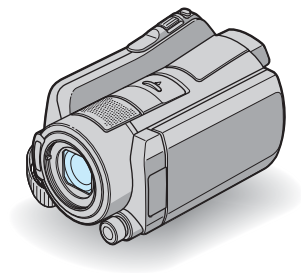
SONY

3-286-585-**01**(1)

デジタルHDビデオカメラレコーダー

HANDYCAM

取扱説明書

HDR-SR11/SR12

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDMI

「ハンディカム ハンドブック」(PDF)もあわせてご覧ください

付属のCD-ROMに収録されている「ハンディカム ハンドブック」では、本機の詳細な活用方法を説明しています。

⚠警告 安全のために

→32〜34ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら ➡
1. **電源を切る**
2. **電池をはずす**
3. **ソニーの相談窓口に連絡する**

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

1. **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。**
2. **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**
3. **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**
4. **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

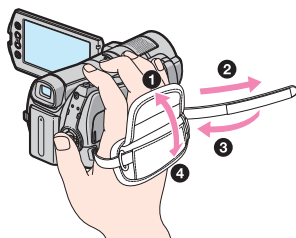
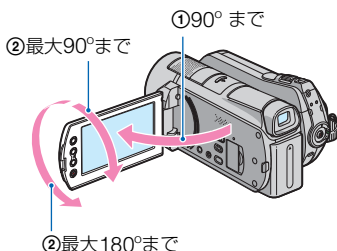
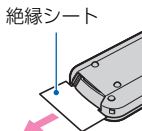
使用前に必ずお読みください

付属品を確認してください

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。(　)内は個数。

- ACアダプター(1)
- 電源コード(1)
- ハンディカムステーション(1) A
- D端子A/Vケーブル(1) B
- A/V接続ケーブル(1) C
- USBケーブル(1) D
- ワイヤレスリモコン(1)
  ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。
- リチャージャブルバッテリーパック NP-FH60(1)
- CD-ROM「Handycam Application Software」(1)(22ページ)
  - 「Picture Motion Browser」(ソフトウェア)
  - 「PMB ガイド」
  - 「ハンディカム ハンドブック」(PDF)
- 取扱説明書 ＜本書＞ (1)
- 保証書(1)

本機の取り扱いについて

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「取り扱い上のご注意」をご覧ください(28ページ)。
- 本機の (動画)ランプ/ (静止画)ランプ(8ページ)やACCESSランプ(10、14ページ)が点灯、点滅中に次のことをすると、メディアが壊れたり、記録した映像が失われる場合があります。
  また、本機の故障の原因になります。
  - "メモリースティック PRO デュオ"を取り出す
  - 本機からバッテリーやACアダプターを取りはずす
  - 本機に衝撃や振動を与える
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- 本機をハンディカムステーションに取り付けて使うとき、ケーブル類はハンディカムステーション側の端子につないでください。ハンディカムステーションと本機の両方につながないでください。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。
  本機のハードディスクが認識されなくなったり、記録や再生ができなくなることがあります。
- 大音量の場所では本機を使用しないでください。本機のハードディスクが認識されなくなったり、記録できなくなることがあります。
- 落下による衝撃から内蔵ハードディスクを保護するため、本機は[落下検出]機能*を搭載しています。そのため、本機が落下状態になったり、無重力状態になると、ハードディスク保護のための動作音が録音されることがあります。また、繰り返し落下状態を検出した場合は、撮影や再生が停止することがあります。
- 本機の温度が高すぎたり、低すぎたりすると、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面およびファインダーにメッセージが表示されます(26ページ)。
- 気圧の低い場所(海抜3,000メートル以上)では本機の電源を入れないでください。ハードディスクを破損するおそれがあります。
- 長期間、画像の撮影/消去を繰り返していると、メディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)されて、画像が正しく記録/保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、[メディア初期化]*を行ってください。
- 撮影時には、グリップベルトを図の順にしっかりとしめて、正しく構えてください。

- 液晶画面を見やすく調節するには、液晶画面を90°まで開き（①）、見やすい角度に調節してください（②）。（②）をレンズ側に180°回して自分撮り（対面撮影）できます。

- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- 絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

本機で使える"メモリースティック"について

- 動画撮影時は、1GB以上の次のマークが付いた"メモリースティック PRO デュオ"の使用をおすすめします。
  - MEMORY STICK PRO DUO（"メモリースティック PRO デュオ"）*
  - MEMORY STICK PRO-HG DUO（"メモリースティック PRO-HG デュオ"）

  * Mark2表示があるものとないもの両方使えます。
- 本機で動作確認している"メモリースティック PRO デュオ"は8GBまでです。
- "メモリースティック PRO デュオ"1枚あたりの撮影可能時間は、9ページをご覧ください。
- 本書では、"メモリースティック PRO デュオ"/"メモリースティックPRO-HG デュオ"を「"メモリースティック PRO デュオ"」と表現しています。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

他機での再生に際してのご注意

- 本機は、HD（ハイビジョン）画質の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。このため、本機でHD（ハイビジョン）画質で記録した映像は、次の機器では再生できません。
  - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
  - AVCHD規格に非対応の機器

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。画像データはパソコンを使ってDVD-Rなどのディスクに保存することをおすすめします*。ビデオ、DVD/HDDレコーダーで画像データを保存することもできます*。

目次

パソコンと接続したときのご注意

- パソコンから本機のハードディスクをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。

本機の廃棄/譲渡に関するご注意

- 本機で[メディア初期化]*やフォーマットを行っても、ハードディスク内のデータは完全には消去されないことがあります。本機を譲渡するときは[データ消去]*を行って、ハードディスク内のデータの復元を困難にすることをおすすめします。本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものと異なります。
- 本書では、内蔵ハードディスク、"メモリースティック PRO デュオ"を「メディア」といいます。
- 本書の説明に使用しているパソコンの画面は、Windows Vistaのものです。お使いのOSによって画面表示は異なります。

* 「ハンディカム ハンドブック」(PDF)や「PMBガイド」をご覧ください。

準備1：バッテリーを充電する

専用の"インフォリチウム"バッテリー(Hシリーズ)を本機に取り付けて充電します。

ご注意

- "インフォリチウム"バッテリーHシリーズ以外は使えません。

1 DCプラグの▲マークを上にして、ハンディカムステーションのDC IN端子につなぐ。

2 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

3 POWERスイッチを「OFF (CHG)」(お買い上げ時の設定)にする。

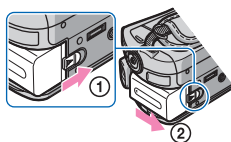
4 バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして取り付ける。

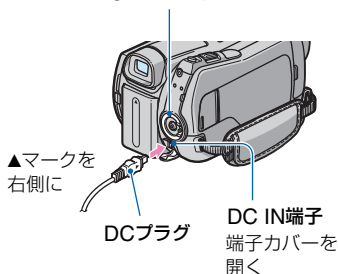
5 本機をハンディカムステーションに図の向きで奥まで確実に取り付ける。

ϟ/CHGランプが点灯し、充電が始まります。ϟ/CHGランプが消え、充電が終わったら(満充電)、本機をハンディカムステーションから取りはずしてください。

バッテリーを取りはずすには

POWERスイッチを「OFF (CHG)」にする。BATT(バッテリー)取りはずしレバーをずらしながら、バッテリーを取りはずす。

BATT(バッテリー)取りはずしレバー

ACアダプターのみで充電するには

POWERスイッチを「OFF (CHG)」にした状態で、本機のDC IN端子に直接ACアダプターをつないで充電する。

付属バッテリーでの充電/撮影/再生時間

充電時間：バッテリーを使い切った状態からのおよその時間

撮影/再生時間：満充電からのおよその時間

「HD」はハイビジョン画質、「SD」は標準画質を表しています。

（単位：分）

	ハードディスク		"メモリースティック PRO デュオ"	
	HD	SD	HD	SD
充電時間（満充電）	135			
撮影可能時間*1*2				
連続撮影時	85	105	90	105
実撮影時*3	40	50	40	50
再生可能時間*2	130	130	140	140

*1 録画モード：「SP」のとき

*2 液晶画面バックライト：［入］のとき

*3 実撮影時とは、録画スタンバイ、POWERスイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

バッテリーについて

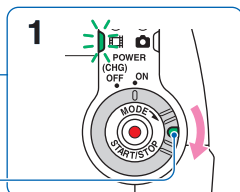
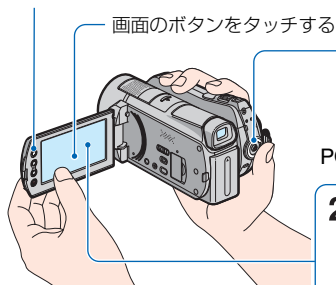
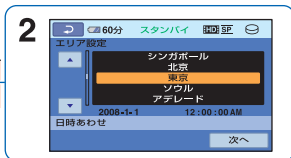
- バッテリーやACアダプターを取りはずすときは、本機のPOWERスイッチを「OFF (CHG)」にして (動画)ランプ/ (静止画)ランプ（8ページ）/ACCESSランプ（10、14ページ）が消えていることを確認してください。
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機やハンディカムステーションのDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。

充電/撮影/再生可能時間について

- 25℃（10～30℃が推奨）で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備2:電源を入れて日付/時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは、液晶画面に自動的に[日時あわせ]画面が表示されます。

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、使用するモードのランプを点灯させる。

(動画):動画を撮影するとき

(静止画):静止画を撮影するとき

初めて電源を入れたときは、手順**3**に進む。

- (静止画)ランプを点灯させると、画像の横縦比が自動的に4:3に切り替わります。

2 (ホーム)→(設定)→[時計設定]→[日時あわせ]をタッチする。

3 ▲/▼でエリアを選び、[次へ]をタッチする。

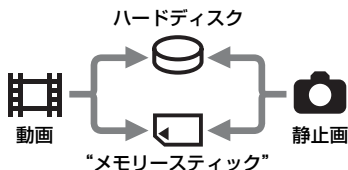
4 同様にサマータイム、[年]、[月]、[日]、時、分を設定して、OKをタッチする。

時計が動き始めます。

ちょっと一言

- 本機で[サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。
- 日付時刻は撮影時には表示されません。自動的にメディアに記録され、再生時に表示させることができます。
- (ホーム)→(設定)→[音/画面設定]→[操作音]で[切]にすると、タッチなどによる操作音を消すことができます。

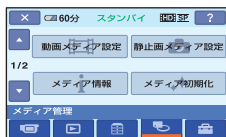
準備3：メディアを設定する

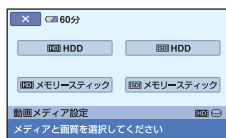
本機は、記録/再生/編集するメディアをハードディスク、または"メモリースティックPROデュオ"に設定できます。動画、静止画ごとにメディアを設定します。
お買い上げ時は、動画、静止画ともにハードディスクに設定されています。

ご注意

- 設定したメディアで画像が記録、再生、編集されます。別のメディアに変更したい場合は、メディアを再設定してください。
- [HD SP]画質（お買い上げ時の設定）のとき、撮影可能時間の目安は次のとおりです。
  – 内蔵ハードディスクのとき：約17時間50分（HDR-SR11）、約36時間（HDR-SR12）
  – ソニー製"メモリースティック PRO デュオ"（4GB）のとき：約1時間5分

ちょっと一言

- 静止画の撮影可能枚数は、液晶画面で確認してください（16ページ）。

1 （ホーム）→ （メディア管理）をタッチする。

2 動画メディアを設定するには[動画メディア設定]をタッチする。

メディア設定画面が表示されます。

3 希望のメディアと画質をタッチする。

HD はハイビジョン画質、SD は標準画質を表しています。

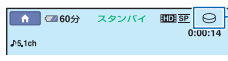
4 [はい]→ OK をタッチする。

メディアが切り替わります。

静止画メディアを設定するには

手順**2**で[静止画メディア設定]をタッチして、希望のメディアをタッチする。

メディア設定を確かめるには

① POWERスイッチを繰り返しずらして、メディアを確認したいランプ（ （動画）/ （静止画））を点灯させる。
② 画面上のメディアアイコンを確認する。

：ハードディスク
：“メモリースティック PRO デュオ”

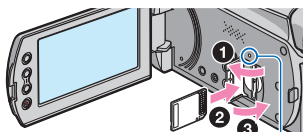
“メモリースティック PRO デュオ”を入れる

メディアに“メモリースティック PRO デュオ”を設定した場合、“メモリースティック PRO デュオ”を用意します。
本機で使える“メモリースティック”については、4ページをご覧ください。

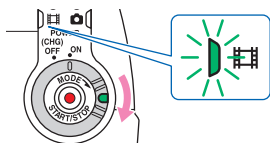
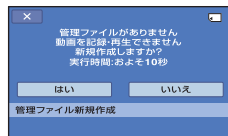
1 “メモリースティック PRO デュオ”を入れる。

❶ メモリースティック デュオ カバーを矢印の方向に開く。

❷ “メモリースティック PRO デュオ”を正しい向きに、「カチッ」というまで押し込む。

❸ メモリースティック デュオ カバーを閉じる。

ACCESSランプ（“メモリースティック PRO デュオ”）

2 動画メディアを“メモリースティック PRO デュオ”に設定した場合は、POWERスイッチをずらして、(動画)ランプを点灯させる。

「OFF (CHG)」から電源を入れるときのみ、緑のボタンを押しながら矢印の方向へずらす。

新しい“メモリースティックPRO デュオ”を入れたときは、液晶画面に[管理ファイル新規作成]画面が表示されます。

3 [はい]をタッチする。

“メモリースティック PRO デュオ”に静止画のみを記録する場合は、[いいえ]をタッチしてください。

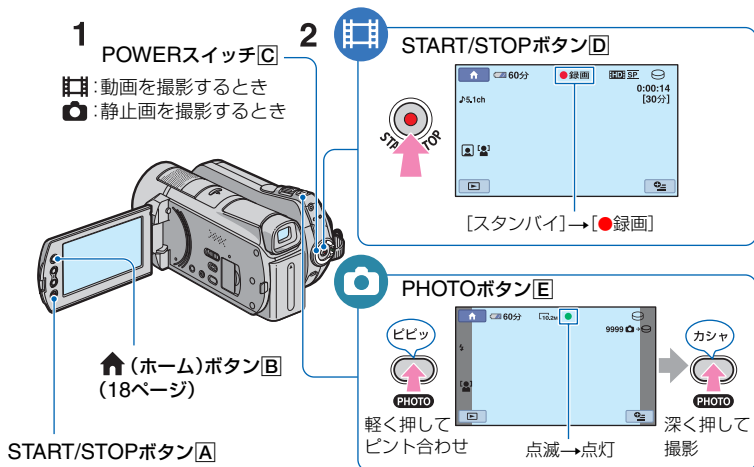
“メモリースティック PRO デュオ”を取り出すには

液晶画面を開いてメモリースティック デュオ カバーを開き、“メモリースティック PRO デュオ”を軽く1回押して取り出す。

ご注意

- 撮影中にメモリースティック デュオ カバーを開けないでください。
- 誤った向きで無理に入れると、“メモリースティック PRO デュオ”やメモリースティック デュオ スロット、画像データが破損することがあります。
- 手順**3**で[管理ファイルを新規作成できませんでした　空き容量がたりない可能性があります]と表示されたときは、“メモリースティック PRO デュオ”を初期化してください。初期化すると“メモリースティック PRO デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 出し入れ時には“メモリースティック PRO デュオ”の飛び出しにご注意ください。

撮る

画像は、設定したメディアに記録されます（9ページ）。お買い上げ時は、動画、静止画ともに内蔵ハードディスクに設定されています。

1 POWERスイッチCをずらして、使用するモードのランプを点灯させる。

「OFF (CHG)」から電源を入れるときは、緑のボタンを押しながらずらす。

2 撮影を始める。

動画を撮る

START/STOPボタンD（またはA）を押す。

撮影をやめるときは、もう一度押す。

静止画を撮る

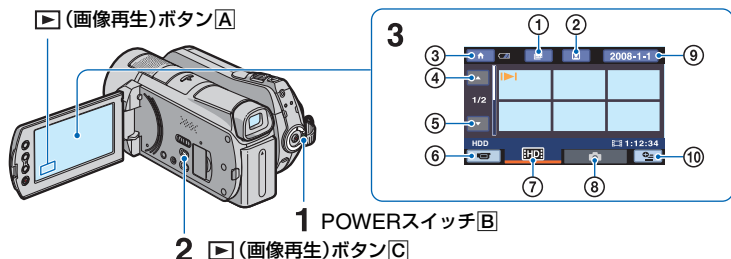
PHOTOボタンEを押す。

またはの横にが表示されます。が消えると記録されます。

ちょっと一言

- 撮影可能時間や空き容量などを確認するには、（ホーム）B→（メディア管理）→［メディア情報］をタッチします。
- 動画撮影中にPHOTOボタンEを押すと、静止画を撮影できます。
- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- 動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。

見る

設定したメディア（9ページ）に記録された画像を再生します。お買い上げ時は、動画、静止画ともに内蔵ハードディスクに設定されています。

① （フィルムロールインデックス）画面へ
② （フェイスインデックス）画面へ
③ ホームメニューへ
④ 前の6枚
⑤ 次の6枚
⑥ 撮影画面に戻る
⑦ HD（ハイビジョン）画質タブ*
⑧ 静止画タブ
⑨ 撮影日から画像を探す
⑩ （オプション）

* ［動画メディア設定］（9 ページ）で SD（標準）画質の動画を選択しているときは、SDが表示されます。

1 POWERスイッチBをずらして本機の電源を入れる。

2 （画像再生）ボタンC（またはA）を押す。

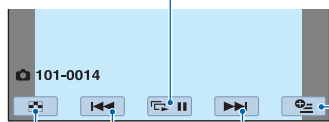
ビジュアルインデックス画面が表示されます（数秒かかります）。

3 再生を始める。

動画を見る

HD、またはSDタブをタッチして、見たい画像をタッチする。

静止画を見る

タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

動画の音量を調節するには

動画を再生中に (オプション)→ タブ→[音量]をタッチし、[−]/[＋]をタッチして調節する。

ちょっと一言

- ビジュアルインデックス画面のそれぞれのタブで最後に再生/撮影した画像にI▶I/▶が表示されます。タッチすると、前回途中で止めた位置から再生できます。

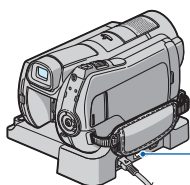
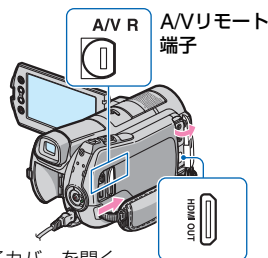
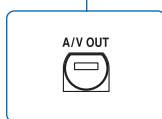
テレビにつないで見る

テレビの種類や接続する端子によって接続方法やテレビに映る画質（HD（ハイビジョン）/SD（標準））が異なります。
電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（6ページ）。
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

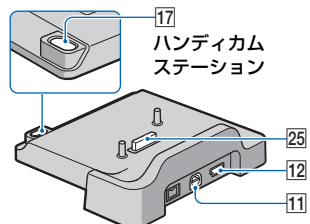
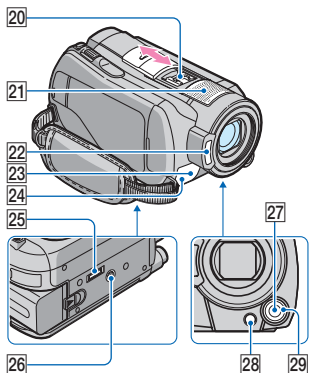
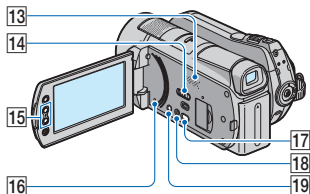
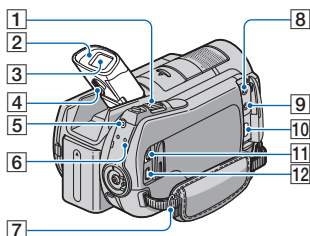
- x.v.Colorに対応したテレビで見るときは、あらかじめ[X.V.COLOR]を[入]にして撮影してください。再生時にはテレビ側の設定が必要になる場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。

操作の流れ

テレビの入力設定を切り換える。
詳しくは、つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。
↓
[テレビ接続ガイド]に従って、本機とテレビを接続する。
(ホーム)→ (その他の機能)→[テレビ接続ガイド]をタッチする。
↓
必要な出力設定を行う。

ご注意

- A/V接続ケーブルを使って映像を出力すると、出力される画質はSD（標準）になります。
- A/Vリモート端子またはA/V OUT端子は本機およびハンディカムステーションにそれぞれ装備しています（14ページ）。A/V接続ケーブルやD端子A/Vケーブルは、ハンディカムステーション、または本機のどちらか一方に接続してください。同時につなぐと画像が乱れることがあります。

各部のなまえと機能

ここでは、他のページで登場していないボタンや端子などを説明しています。

撮るとき/見るとき

1 ズームレバー

軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。静止画を1.1～5倍の範囲でズーム（再生ズーム）できます。

- 再生ズーム中に画面をタッチすると、タッチした部分が液晶画面中央に表示されます。

2 アイカップ

3 ファインダー

液晶画面を閉じてファインダーで画像を見ることもできます。バッテリー切れが心配なときや、液晶画面で画像を見づらいときに便利です。

4 視度調整つまみ

ファインダーを上げて、画像がはっきり見えるように動かします。

5 QUICK ON（クイック オン）ボタン

電源を切るかわりにQUICK ONボタンを押すと、消費電力を抑えた状態（スリープモード）になります。スリープモード中は、QUICK ONランプが点滅します。
次の撮影を始めるときにもう一度QUICK ONボタンを押すと、約1秒で撮影可能な状態になります。スリープモード中に操作をしない状態が続くと、自動的に電源が切れます。

6 ACCESS（アクセス）ランプ（ハードディスク）

点灯中や点滅中は、データの読み込み/書き込みを行っています。

7 ショルダーベルト取り付け部

ショルダーベルト（別売り）を取り付けます。

13 スピーカー

14 NIGHTSHOTスイッチ

「ON」にすると、暗い場所で撮影できます（[アイコン] が表示されます）。

15 ズームボタン
ズームします。
静止画を1.1～5倍の範囲でズーム(再生ズーム)できます。
- 再生ズーム中に画面をタッチすると、タッチした部分が液晶画面中央に表示されます。

16 RESET(リセット)ボタン
日時を含めすべての設定が解除されます。

18 EASY(かんたん操作)ボタン
EASY が表示され、ほとんどの設定を自動化するので、簡単に撮影/再生できます。解除するにはもう1度押します。

19 DISP/BATT INFO(画面表示/バッテリーインフォ)ボタン
電源が入っているときに押すと画面表示を切り換えられます。
POWERスイッチが「OFF (CHG)」のときに押すと、バッテリー残量を確認できます。

21 内蔵マイク
取り込んだ音を5.1chサラウンド音声に変換して記録します。

22 フラッシュ発光部
お買い上げ時の設定では、環境にあわせて自動発光します。
(ホーム)→(設定)→[静止画撮影設定]→[フラッシュモード]をタッチして設定を変更できます。

23 リモコン受光部/赤外線発光部
リモコンからの信号を受けます。

24 録画ランプ
録画時に赤く点灯します。メディアやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。

26 三脚用ネジ穴(本体底面)
三脚(別売り、ネジの長さが5.5mm以下)を取り付けられます。

27 MANUAL(マニュアル)ボタン
数秒間押し続けると[ダイヤル設定]画面が表示されます。

28 (逆光補正)ボタン
が表示され、逆光を補正します。解除するにはもう1度押します。

29 CAM CTRL(カメラコントロール)ダイヤル
[ダイヤル設定]画面で設定した項目を操作できます。

外部機器をつなぐとき

8 MIC(PLUG IN POWER)端子
外部マイクをつなぐと、その音声が内蔵マイクよりも優先されます(15ページ)。

9 (ヘッドフォン)端子

10 HDMI OUT(ミニ)端子
HDMIケーブル(別売り)をつなぎます。

11 A/Vリモート端子/A/V OUT端子
D端子A/VケーブルまたはA/V接続ケーブルをつなぎます。

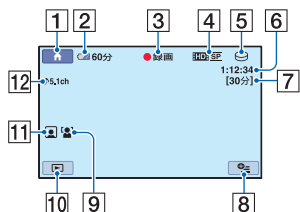
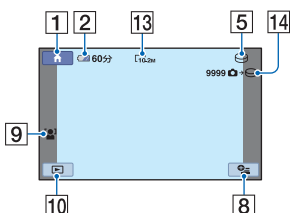
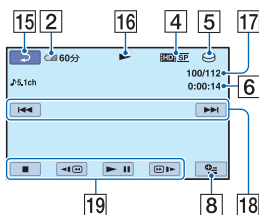
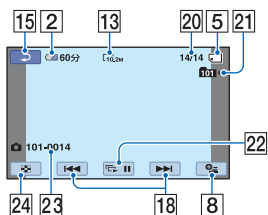
12 (USB)端子
USBケーブルをつなぎます。

17 (ワンタッチ ディスク)ボタン
パソコンなどとつないでディスクを作成します。詳しくは「PMB ガイド」をご覧ください(24ページ)。

20 アクティブインターフェースシュー
Active Interface Shoe
専用マイクやフラッシュ(別売り)などを使うときに、本機から電源供給し、本機のPOWERスイッチに連動して接続機器の電源の入/切ができます。

25 インターフェースコネクタ
本機とハンディカムステーションを接続します。

画面表示

動画を撮影中

静止画を撮影中

動画を再生中

静止画を再生中

1 ホームボタン

2 バッテリー残量の目安

3 撮影状態（[スタンバイ]/[●録画]）

4 記録画質（HD/SD）と録画モード（FH/HQ/SP/LP）

5 記録/再生メディア

6 カウンター（時：分：秒）

7 記録残量時間

8 オプションボタン

9 顔検出

10 画像再生ボタン

11 フェイスインデックス設定

12 5.1chサラウンド記録

13 画像サイズ

14 およその静止画撮影可能枚数とメディア、または静止画記録中

15 戻るボタン

16 再生表示

17 再生中の動画の番号/記録している動画の数

18 前の画像/次の画像ボタン

19 動画操作ボタン

20 再生中の静止画の番号/記録している静止画の数

21 再生フォルダ
静止画の再生メディアが“メモリースティック PRO デュオ”のときのみ表示されます。

22 スライドショーボタン

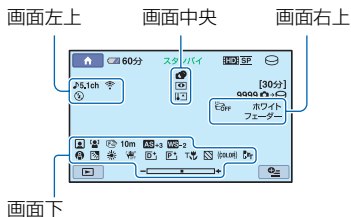
23 データファイル名

24 ビジュアルインデックス表示ボタン

液晶画面とファインダーの表示

撮影/再生中や、設定を変更したときに次の表示が出ます。

画面左上　　画面中央　　画面右上

画面下

画面左上

表示	意味
♪5.1ch ♪2ch	オーディオモード
	セルフタイマー
	フラッシュ/赤目軽減
	内蔵ズームマイク
	マイク基準レベル低
4:3	ワイド切換

画面中央

表示	意味
10.2M 7.6M 6.1M 1.9M VGA	画像サイズ
	スライドショー設定
	NightShot
S	Super NightShot
	Color Slow Shutter
	PictBridge接続中
	警告

画面右上

表示	意味
ホワイト フェーダー　ブラック フェーダー	フェーダー
OFF	液晶バックライト切
OFF	落下検出切

表示	意味
	落下検出中
	静止画記録メディア

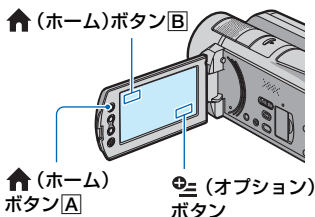
画面下

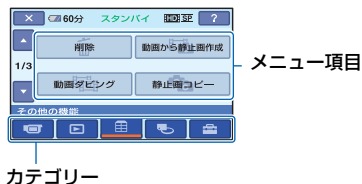
表示	意味
	フェイスインデックス
	顔検出
P	ピクチャーエフェクト
D	デジタルエフェクト
	手動フォーカス
	シーンセレクション
	逆光補正
	ホワイトバランス
OFF	手ブレ補正切
	フレキシブルスポット測光/カメラ明るさ
AS	AEシフト
WS	WBシフト
T	テレマクロ
	ゼブラ
(COLOR)	X.V.COLOR
W T	アクセサリーレンズ

ちょっと一言

- 表示内容/位置は目安であり、実際と異なることがあります。詳しくは、「ハンディカム ハンドブック」(PDF)をご覧ください。
- 撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが、自動的に記録されます。
これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に日付時刻/カメラデータとして確認できます。

多彩な機能を使いこなす-「ホーム」と「オプション」

(ホーム)ボタンA(またはB)、または(オプション)ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。各メニュー項目の説明は、「ハンディカム ハンドブック」(PDF)をご覧ください(22ページ)。

ホームメニューの使いかた

ホームメニューから、本機の設定変更ができます。(ホーム)ボタンA(またはB)を押すと、メニュー画面が表示されます。

1 **希望のカテゴリー、メニュー項目の順にタッチして設定を変更する。**

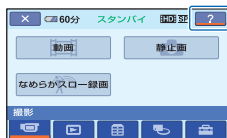
2 **画面の表示に従って設定する。**

ちょっと一言

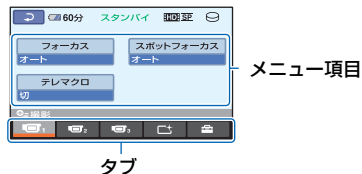
- 希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして、表示させます。
- ホームメニュー画面を消すには、×をタッチします。
- 灰色で表示されるメニュー項目などは、その環境/再生条件では使えません(同時に選べません)。

ホームメニューの説明(ヘルプ)を表示させるには

① (ホーム)ボタンA(またはB)を押す。

② ?(ヘルプ)をタッチする。
?(ヘルプ)の下辺がオレンジ色に変わります。

③ 内容を知りたい項目をタッチする。
タッチした項目の説明が表示されます。
その項目を実行するには[はい]をタッチする。

オプションメニューの使いかた

パソコンの右クリックのような役割が(オプション)メニューです。(オプション)ボタンを押すと、そのときに設定できるメニュー項目が表示されます。

1 **タブ、希望の項目の順にタッチして設定を変更する。**

2 **設定が終わったら、OKをタッチする。**

ご注意

- 希望の項目が画面にないときは、他のタブをタッチしてください。状況によって、タブが表示されないこともあります。
- かんたん操作中は（オプション）メニューは使えません。

ホームメニュー一覧

（撮影）カテゴリー	
動画*	
静止画*	
なめらかスロー録画	
（画像再生）カテゴリー	
V.インデックス*	
インデックス*	
インデックス*	
プレイリスト	
（その他の機能）カテゴリー	
削除*	[削除]、[削除]
動画から静止画作成	
動画ダビング	[HD → ダビング]、[SD → ダビング]
静止画コピー	[選択コピー]、[日付コピー]
編集	[削除]、[削除]、[分割]
プレイリスト編集	[HD 追加]、[SD 追加]、[HD 日付指定追加]、[SD 日付指定追加]、[HD 消去]、[SD 消去]、[HD 全消去]、[SD 全消去]、[HD 移動]、[SD 移動]
印刷	
USB接続	[USB接続]、[USB接続]、[ワンタッチディスク]
テレビ接続ガイド*	

（メディア管理）カテゴリー	
動画メディア設定*	
静止画メディア設定*	
メディア情報	
メディア初期化*	[HDD]、[メモリースティック]
管理ファイル修復	[HDD]、[メモリースティック]
（設定）カテゴリー	
動画撮影設定	[録画モード]、[オーディオモード]、[AEシフト]、[WBシフト]、[NIGHTSHOT ライト]、[ワイド切換]、[デジタルズーム]、[手ブレ補正]、[オートスロシャッタ]、[X.V.COLOR]、[ガイドフレーム]、[ゼブラ]、[残量表示設定]、[プレーヤ用日付記録]、[フラッシュモード]*、[フラッシュレベル]、[赤目軽減]、[ダイヤル設定]、[顔検出]、[インデックス設定]*、[アクセサリーレンズ]
静止画撮影設定	[画像サイズ]*、[ファイルナンバー]、[AEシフト]、[WBシフト]、[NIGHTSHOT ライト]、[手ブレ補正]、[ガイドフレーム]、[ゼブラ]、[フラッシュモード]*、[フラッシュレベル]、[赤目軽減]、[ダイヤル設定]、[顔検出]、[アクセサリーレンズ]
画像再生設定	[日時/データ表示]、[表示枚数]
音/画面設定**	[音量]*、[操作音]*、[パネル明るさ]、[パネルBLレベル]、[パネル色の濃さ]、[VFバックライト]
出力設定	[TVタイプ]、[画面表示出力]、[コンポーネント出力]
時計設定	[日時あわせ]*、[エリア設定]、[サマータイム]

一般設定	[デモモード]、[録画ランプ]、[キャリブレーション]、[自動電源オフ]、[クイック オン時間]、[リモコン]、[落下検出]、[HDMI機器制御]

* かんたん操作中も設定できます。
** かんたん操作中は[音設定]になります。

オプションメニュー一覧

下記は、オプションメニューからのみ設定できる項目です。

タブ
[フォーカス]、[スポットフォーカス]、[テレマクロ]、[カメラ明るさ]、[スポット測光]、[シーンセレクション]、[ホワイトバランス]、[COLOR SLOW SHTR]、[SUPER NIGHTSHOT]
タブ
[フェーダー]、[デジタルエフェクト]、[P.エフェクト]
タブ
[内蔵ズームマイク]、[マイク基準レベル]、[セルフタイマー]、[タイミング]、[音声記録]
--(状況によってタブが変わる/タブなし)
[スライドショー]、[スライドショー設定]、[印刷部数]、[日付/時刻]、[用紙サイズ]

画像を保存する

メディアの容量には限界があるため、DVD-Rなどの外部メディアやパソコンに画像データを保存してください。
本機で撮影した画像は、以下の方法で保存(バックアップ)できます。

パソコンを使う

付属のCD-ROM収録の「Picture Motion Browser」を使って、本機で撮影した画像をHD(ハイビジョン)画質またはSD(標準)画質で保存できます。
HD(ハイビジョン)画質の画像は必要に応じて本機へ書き戻しができます。詳しくは「PMB ガイド」(24ページ)をご覧ください。

ワンタッチでディスクを作成する(ワンタッチ ディスク)

(ワンタッチ ディスク)ボタンを押して、本機のハードディスクに記録した画像を、簡単操作でそのままディスクに保存できます。

画像をパソコンに保存する(かんたんPCバックアップ)

本機で撮影した画像をパソコンのハードディスクに保存します。

画像を選んでディスクを作成する

パソコンに取り込んだ画像を選んで、ディスクに保存できます。また、パソコンで画像の編集もできます。

本機を他の機器につなぐ

詳しくは「ハンディカム ハンドブック」(PDF)をご覧ください。

A/V接続ケーブルでつなぐ

ビデオ、DVD/HDDレコーダーにダビングできます。画質はSD(標準)になります。

USBケーブルでつなぐ

動画ダビングに対応したDVDライターや、ブルーレイディスクレコーダーなどにHD（ハイビジョン）画質でダビングできます。

ちょっと一言

- ハードディスクの動画/静止画を"メモリースティック PRO デュオ"にダビング/コピーできます。（ホーム）→（その他の機能）→[動画ダビング]/[静止画コピー]をタッチしてください。

画像を削除する

あらかじめ、削除したい画像が記録されているメディアを設定しておいてください（9ページ）。

動画を削除する

1 **（ホーム）→（その他の機能）→[削除]をタッチする。**

2 **[削除]をタッチする。**

3 **[HD 削除]または[SD 削除]をタッチし、削除したい動画をタッチする。**

選んだ動画に✔が表示されます。

4 **OK→[はい]→OKをタッチする。**

動画をすべて削除するには

手順**3**で[HD 全削除]/[SD 全削除]→[はい]→[はい]→OKをタッチする。

静止画を削除するには

① 手順**2**で[削除]をタッチする。

② [削除]をタッチし、削除したい静止画をタッチする。
選んだ静止画に✔が表示されます。

③ OK→[はい]→OKをタッチする。

ちょっと一言

- メディア内のすべての静止画を削除するには、手順②で[全削除]→[はい]→[はい]→OKをタッチします。

撮る/見る

パソコンを活用する

インストールするハンドブック/ソフトウェア

■「ハンディカム ハンドブック」（PDF）

本機の詳細な説明や、活用方法が載っています。

■「Picture Motion Browser」（Windowsパソコンのみ）

付属ソフトウェア。次の操作を楽しむことができます。

– ワンタッチでディスクを作成
– パソコンへの画像の取り込み
– 取り込んだ画像の編集
– ディスクの作成

ご注意

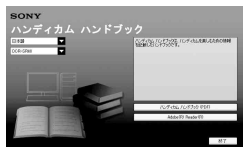
- **付属のソフトウェア「Picture Motion Browser」はMacintoshに対応していません。**
  本機とMacintoshを接続して画像を扱う方法について詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
  http://guide.d-imaging.sony.co.jp/mac/ms/jp/

「ハンディカム ハンドブック」（PDF）をインストールして見る

ご覧になるにはAdobe Readerが必要です。

① パソコンの電源を入れる。

② パソコンのディスクドライブにCD-ROM（付属）をセットする。
インストールの選択画面が表示されます。

③ [ハンディカム ハンドブック]をクリックする。
「ハンディカム ハンドブック」（PDF）のインストール画面が表示されます。

④ [日本語]とお使いの機種名を選択し、[ハンディカム ハンドブック（PDF）]をクリックする。
インストールが開始されます。終了すると、デスクトップに「ハンディカム ハンドブック」（PDF）のショートカットが表示されます。

- お使いの機種名は、本機の底面に記載されています。

⑤ [終了]→[終了]をクリックし、パソコンからCD-ROMを取り出す。
ハンドブックを見るには、ショートカットをダブルクリックする。

ちょっと一言

- Macintoshをお使いのときは、次の手順を行ってください。
  ❶ コンピュータの電源を入れる。
  ❷ コンピュータのディスクドライブにCD-ROM（付属）をセットする。
  ❸ CD-ROM内の[Handbook]フォルダから[JP]フォルダを開き、[Handbook.pdf]をコンピュータにドラッグアンドドロップする。
  ハンドブックを見るには、[Handbook.pdf]をダブルクリックする。

「Picture Motion Browser」をインストールする

■ 「Picture Motion Browser」を使うときのパソコン環境

対応OS: Microsoft Windows 2000 Professional SP4/Windows XP SP2*/Windows Vista*

*64bit版は除きます。

- 上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
  上記のOS内でもアップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

CPU: Intel Pentium 4 2.8GHz以上（Intel Pentium 4 3.6GHz以上、Intel Pentium D 2.8GHz以上、Intel Core Duo 1.66GHz以上、Intel Core 2 Duo 1.66GHz以上を推奨します。）
ただし、以下の場合については、Pentium III 1GHz以上での動作が可能です。

– コンテンツのパソコンへの取り込み
– ワンタッチディスク
– AVCHD対応ディスク/DVDビデオ作成
– ディスクのコピー
– SD（標準）画質のコンテンツのみ扱う場合

メモリー: Windows 2000/Windows XP: 512MB以上（1GB以上を推奨します。）
ただし、SD（標準）画質のコンテンツのみを扱う場合は、256MB以上が必要です。
Windows Vista: 1GB以上

ハードディスク: インストールに必要なハードディスク容量: 約500MB（AVCHD対応ディスクを作成する場合には、10GB以上必要になる場合もあります。）

ディスプレイ: 解像度は1,024×768ドット以上

その他必要な装置: USB端子標準装備（Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）対応を推奨）、DVD作成が可能なディスクドライブ（インストールにはCD-ROMドライブが必要）

重要なお知らせ

DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、「Picture Motion Browser」を使用して作成したHD（ハイビジョン）画質のディスクを入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。

■ ソフトウェアをインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、ソフトウェアをインストールします。
1度インストールすれば、次回からインストールは不要です。
パソコンのOSによってインストールする内容や手順が異なります。

① パソコンに本機がつながれていないことを確認する。

② パソコンの電源を入れる。

ご注意
- Administrator権限/コンピュータの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

③ パソコンのディスクドライブにCD-ROM（付属）をセットする。
インストール画面が表示されます。

パソコンで楽しむ

インストール画面が表示されないときは

❶ [スタート]→[マイ コンピュータ]の順にクリックする(Windows 2000の場合は、[マイ コンピュータ]をダブルクリックする)。

❷ [SONYPICTUTIL(E:)](CD-ROM)*をダブルクリックする。

* ドライブ文字((E:)など)は、使うパソコンによって異なることがあります。

④ [インストール]をクリックする。

⑤ [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

⑥ 接続の確認画面が表示されるので、以下の手順で本機とパソコンをつなぐ。

❶ ACアダプターをハンディカムステーションとコンセントにつなぐ。

❷ 本機をハンディカムステーションに取り付けて電源を入れる。

❸ USBケーブルでハンディカムステーションの(USB)端子(15ページ)とパソコンのUSB端子をつなぐ。
本機に[USB機能選択]画面が表示されます。

❹ 本機の画面で[USB接続]または[USB接続]をタッチする。

⑦ [続行]をクリックする。

⑧ [使用許諾契約]の内容をよく読み、同意される場合は[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択し、[次へ]をクリックする。

⑨ インストールの設定を確認し、[インストール]をクリックする。

⑩ 以降、パソコンの画面の指示に従ってインストールを進める。
お使いのパソコン環境によっては、ソフトウェアのインストール画面が表示される場合があります。画面の指示に従ってインストールしてください。

⑪ パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動する。

⑫ パソコンからCD-ROMを取り出す。

USBケーブルをはずすには

① パソコンのデスクトップ右下で、アイコン→[USB大容量記憶装置を安全に取り外します]→[OK](Windows 2000のみ)の順にクリックする。

② 本機の画面で、[終了]→[はい]の順にタッチする。

③ USBケーブルを取りはずす。

「Picture Motion Browser」を起動するには

「Picture Motion Browser」を起動するには、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Sony Picture Utility]→[PMB - Picture Motion Browser]をクリックします。
「Picture Motion Browser」の基本的な操作方法は「PMB ガイド」に記載されています。「PMB ガイド」を表示するには、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Sony Picture Utility]→[ヘルプ]→[PMB ガイド]をクリックします。

ちょっと一言

- [USB機能選択]画面が表示されないときは、(ホーム)→(その他の機能)→[USB接続]をタッチして表示させてください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

修理に出される場合のご注意

- 修理内容によってはハードディスクの初期化または交換が必要となることがあります。その場合、ハードディスク内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前にハードディスク内のデータを保存（バックアップ）してください（データの保存（バックアップ）について詳しくは、「ハンディカム ハンドブック」（PDF）をご覧ください）。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。
- 修理において、不具合症状の発生/改善の確認のために、必要最小限の範囲でハードディスク内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製/保存することはありません。
- 本機の症状については「ハンディカム ハンドブック」（PDF）、パソコンとの接続については「PMB ガイド」をご覧ください。

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける（6ページ）。
- ACアダプターをコンセントに差し込む（6ページ）。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取りはずし、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET（リセット）ボタン（15ページ）を先のとがったもので押す（すべての設定が解除される）。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を入れた状態でしばらく放置する。それでも操作できないときは一度電源を切り、暖かい場所に移動してしばらくしてから電源を入れる。

本機があたたかくなる。

- 長時間電源を入れたままにしたためで、故障ではありません。

電源が途中で切れる。

- ACアダプターを使用する。
- もう一度電源を入れる。
- バッテリーを充電する（6ページ）。

START/STOPボタンやPHOTOボタンを押しても撮影できない。

- POWERスイッチをずらして、（動画）または（静止画）ランプを点灯させる（8ページ）。
- スリープモード中は撮影できません。QUICK ONボタンを押す（14ページ）。
- 直前に撮影した画像をメディアに書き込んでいる。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- メディアの空き容量がない。不要な画像を削除する（21ページ）。
- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えている。不要な画像を削除する（21ページ）。

録画が止まる。

- 本機の温度が著しく高い、または低い。電源を切り、涼しい場所/暖かい場所にしばらく放置する。

「Picture Motion Browser」がインストールできない

- パソコンの環境が対応しているか確認してください。
- 正しい手順でインストールしてください（23ページ）。

「Picture Motion Browser」が正しく動作しない

- 「Picture Motion Browser」を終了し、パソコンを再起動する。

本機がパソコンに認識されない

- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれているほかの機器を取りはずす。
- パソコンとハンディカムステーションからUSBケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンとハンディカムステーションをつなぐ。

自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーに、次のように表示されます。
2、3回対応を繰り返しても正常に戻らないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

表示	説明
C:04:□□	• "インフォリチウム" バッテリーHシリーズ以外のバッテリーが使われている。必ず"インフォリチウム" バッテリーHシリーズを使う（6ページ）。 • ACアダプターのDCプラグをハンディカムステーションまたは本機のDC IN端子にしっかりつなぐ（6ページ）。
C:13:□□ / C:32:□□	• 電源をいったん取りはずし、取り付け直してからもう1度操作し直す。
E:20:□□ / E:31:□□ / E:61:□□ / E:62:□□ / E:91:□□ / E:94:□□	• 修理が必要なため、ソニーの相談窓口（裏表紙）にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

表示	説明
101-0001	• 遅い点滅のときは、ファイルが壊れている。または扱えないファイル。
（ハードディスクアイコン）	• ハードディスクに問題がある。
（ハードディスク容量アイコン）	• 本機のハードディスクの容量がいっぱいである。ハードディスク内の不要な画像を削除する。 • 本機のハードディスクドライブに異常が発生した可能性がある。
（バッテリーアイコン）	• バッテリー残量が少ない。
（高温アイコン）	• 本機が高温になっている。電源を切って、涼しいところに置く。
（低温アイコン）	• 本機が低温になっている。本機を暖める。
（メモリースティックアイコン）	• 遅い点滅のときは、撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使える "メモリースティック" については、4ページをご覧ください。 • "メモリースティック PRO デュオ" が入っていない（9ページ）。 • 速い点滅のときは、撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか、画像を保存（バックアップ）してから "メモリースティック PRO デュオ" を初期化する（20ページ）。 • 管理ファイルが壊れている。
（メモリースティックエラーアイコン）	• "メモリースティック PRO デュオ" に問題がある。本機でフォーマットする。
（?アイコン）	• 本機では使えない "メモリースティック デュオ" を入れた。

表示	説明
[icons]	• "メモリースティック PRO デュオ"が書き込み不能になっている。
[icon]	• フラッシュに問題がある。
[icon]	• 光量が不足している。フラッシュを使う。 • 手ブレ状態になっている。カメラを固定する。ただし、手ブレマークは消えません。
[icon]	• 落下検出した。録画/再生ができなくなることがあります。
[icon]	• メディアの空き容量がない。 • 処理中のため、一時的に静止画記録ができない。しばらく待ってから撮影する。

取り扱い上のご注意

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長時間使用しないときは

- 本機の性能を維持するために定期的に電源を3分間入れ、撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でお使いになると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。
別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶パネルにかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う
  - ゴムやビニール製品との長時間接触

カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、**3か月近く**まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

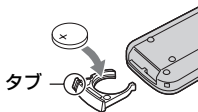
本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF (CHG)」にして24時間以上放置する。

主な仕様

“メモリースティック PRO デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック PRO デュオ”内のデータは完全には消去されないことがあります。“メモリースティックPRO デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。
また“メモリースティックPRO デュオ”を廃棄するときは、“メモリースティック PRO デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
② ＋面を上にして新しい電池を入れる。
③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

システム

映像圧縮方式：AVCHD（HD）/MPEG2（SD）/JPEG（静止画）

音声圧縮方式：Dolby Digital2/5.1ch
ドルビーデジタル5.1クリエーター搭載

映像信号：NTSCカラー、EIA標準方式
1080/60i方式

ハードディスク：HDR-SR11：60 GB
HDR-SR12：120 GB
容量は、1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また管理用ファイルなどを含むため、実際使用できる容量は若干減少する場合があります。

動画記録方式：動画HD：AVCHD 1080/60i
動画SD：MPEG2-PS

静止画記録方式：Exif Ver.2.2*

ファインダー：電子ファインダー：カラー

撮像素子：5.8 mm（1/3.13型）CMOSセンサー
記録画素数：静止画時最大1 020万画素相当**（3 680×2 760）（4：3時）
総画素数：約566万画素
動画時有効画素数（16：9）：約381万画素
静止画時有効画素数（16：9）：約381万画素
静止画時有効画素数（4：3）：約508万画素

ズームレンズ：カール ツァイス バリオゾナーT✱
12倍（光学）、24倍、150倍（デジタル）
フィルター径37 mm
F1.8～3.1
f=4.9～58.8 mm
35mmカメラ換算では動画撮影時
40～480 mm（16：9）
静止画撮影時：
37～444 mm（4：3）

色温度切り換え：［オート］、［ワンプッシュ］、［屋内］（3 200 K）、［屋外］（5 800 K）

最低被写体照度：5 lx（ルクス）（［オートスロシャッタ］［入］、［シャッタースピード］1/30秒）
0 lx（ルクス）（NightShot時）

* （社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット。

** ソニー独自のクリアビッドCMOSセンサーの画素配列と画像処理システムBIONZにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

入/出力端子

A/Vリモート端子:コンポーネント、映像音声出力兼用端子

HDMI OUT端子:HDMIタイプCミニ端子

ヘッドホン端子:ステレオミニジャック(ø 3.5 mm)

MIC入力端子:ステレオミニジャック(ø 3.5 mm)

USB端子:mini-B

液晶画面

画面サイズ:8.0 cm(3.2型、アスペクト比16:9)

総ドット数:921 600ドット
横1 920×縦480

電源部、その他

電源電圧:バッテリー端子入力 6.8 V/7.2 V
DC端子入力 8.4 V

消費電力:ファインダー使用時、明るさ標準:
ハードディスク:
HD:4.5 W SD:3.6 W
"メモリースティック PRO デュオ":
HD:4.4 W SD:3.6 W
液晶画面使用時、明るさ標準:
ハードディスク:
HD:4.8 W SD:4.0 W
"メモリースティック PRO デュオ":
HD:4.6 W SD:3.9 W

動作温度:0 ℃～+40 ℃

保存温度:－20 ℃～+60 ℃

外形寸法:83×76×138 mm
(突起部を含む)
(幅×高さ×奥行き)
83×76×138 mm
(突起部を含む、付属バッテリー装着状態)
(幅×高さ×奥行き)

本体質量:HDR-SR11:約560 g(本体のみ)
HDR-SR12:約570 g(本体のみ)

撮影時総質量:HDR-SR11:約640 g(付属バッテリー含む。)
HDR-SR12:約650 g(付属バッテリー含む。)

ハンディカムステーション DCRA-C210

入/出力端子

A/V OUT端子:コンポーネント、映像音声出力兼用端子

USB端子:mini-B

ACアダプター AC-L200/L200B

電源:AC 100 V - 240 V、50/60 Hz

消費電力:18 W

定格出力:DC 8.4 V *

動作温度:0 ℃～+40 ℃

保存温度:－20 ℃～+60 ℃

外形寸法:約 48×29×81 mm(最大突起部をのぞく)(幅×高さ×奥行き)

質量:約170 g(本体のみ)

* その他の仕様については AC アダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FH60

最大電圧:DC 8.4 V

公称電圧:DC 7.2 V

容量:7.2 Wh(1 000 mAh)

使用電池:Li-ion

本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

商標について

- "ハンディカム"、HANDYCAM は ソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社と松下電器産業株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK™、"メモリースティック デュオ"、MEMORY STICK DUO、"メモリースティック PRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"マジックゲート"、MAGICGATE、"MagicGate Memory Stick"、"マジックゲート メモリースティック"、"MagicGate Memory Stick Duo"、"マジックゲート メモリースティック デュオ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- "x.v.Color"はソニー株式会社の商標です。
- "BIONZ"はソニー株式会社の商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ドルビーデジタル5.1クリエーターはドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vista、DirectXはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 修理に出される前に

修理に出される場合のご注意(25ページ)をご覧ください。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

安全のために

→2ページもあわせてお読みください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、**火災、大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取りはずしてください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、記録メディアは、乳幼児の手の届く場所に置かない

禁止

電池などの付属品や"メモリースティック"などを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。

また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

フラッシュ、ビデオライトご使用上の注意

- 点灯したまま放置しない。
- 使用中に紙や布などの燃えやすいものを近づけない。
- ビデオライトの点灯中および消灯直後のランプに触らない。
- 指定以外のランプを使用しない。火災ややけどの原因になります。
- 可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュまたは、ビデオライトを使用しない。

フラッシュ、ビデオライトなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池や"メモリースティック"などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

- バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。

禁止

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- ボタン電池は充電しないでください。

禁止

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取りはずしておく。

指示

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については

有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

リチウムイオン電池

■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

ハンディカムの最新サポート情報
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)
http://www.sony.co.jp/cam/support/

ハンディカムホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

メモリースティック対応表
http://www.sony.co.jp/mstaiou
使用可能な"メモリースティック"を確認することができます。

付属ソフトウェア(Picture Motion Browser)のサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる(ソニーの相談窓口)

●使い方相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2511
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

●修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/
FAX(共通):0120-333-389
受付時間:月～金 9:00 ～ 20:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

> 登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
> 詳しくは下記のURLをご覧ください。
> http://www.sony.co.jp/cam/contact/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、
VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

SONY
HANDYCAM
HDR-SR11/SR12